

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年11月11日

事業所名 放課後等デイサービス森の地図

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容によっては過密状態になるため、グループ分けや活動内容を工夫し、安全に過ごすことができるよう取り組んでいる	法令を遵守した活動スペースを確保しているが、コロナ禍ということもあり、1人1人の間隔を確保し、より安全性の高い環境を活動等の配慮により確保していく。
	2	職員の配置数は適切である	○		児童に対しきめ細やかな対応ができるよう、職員の配置は多めに配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている			視覚的な配慮やバリアフリーなど可能な範囲で対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている			こまめな清掃、除菌を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングの中で意識ながら行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				今回が初めての評価の為、該当なし。今回の結果を業務改善につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今回が初めての評価の為、該当なし。今回の結果はホームページで公開する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行っていない。相談支援事業所や保護者様の意見を業務改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修会を定期的実施している。また、資格取得補助制度により職員の資質向上にも取り組んでいる。	積極的に資格取得補助制度の利用を職員に促していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時に保護者様へ聞き取りを行い、アセスメントを作成し、支援計画を作成している。また、事業所内で行った脳機能トレーニングの結果を分析し、計画を作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所で作成したアセスメントツール、発達検査と関連のある脳機能トレーニング機器の結果を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントや職員との会議を行い適切に設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿った支援が行えるよう定期的に振り返り等行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童が楽しんで取り組める活動作りを行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ活動でも季節や流行りなどを取り入れ、同じ内容にならないよう工夫している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別の課題、集団での活動と1日の中で分けて取り組んでいる。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝朝礼を行い、申し送りや役割などの確認を行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行い、気付いた点などをデータにまとめ共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援の記録を電子システムで管理し、検証、改善につなげている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、現在の状況と支援計画を照らし合わせ見直しの必要性を判断している。	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		コロナ禍で担当者会議を行う機会は少ないが管理者又は児発管が出席している。		
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	連携が必要な児童に関しては密な連携を図っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		身体障がい児・重症心身障がい児は当施設の受入れ対象外の為、医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		身体障がい児・重症心身障がい児は当施設の受入れ対象外の為、医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			児童の様子や支援内容など情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		対象児童在籍なし。今後在籍した場合は連携を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修等があれば参加したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍の為実施なし。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		○		開催されれば参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳・電話・送迎時の会話等共通理解を持てるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		コロナ禍の為実施なし。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に対面で説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画作成時に対面で説明、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や電話等で相談をお伺いし、内容は職員間でも共有している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍の為実施なし。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者から相談があった場合は職員間で共有し、支援方法等の検討を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
寺	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		保護者専用のウェブページで情報提供を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報保護の研修を職員に行っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		理解しやすい言葉、穏やかな口調、トーンや表情に気を付けている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の為実施なし。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		事業所の玄関と事務所にファイルを設置し、いつでも閲覧できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント作成時に服薬状況等の聞き取りを行い、服薬の変更等があれば都度お伺いしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事やおやつを提供時は細心の注意をはらっている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書の作成、職員間の周知を行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束は行わない方針をとっている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。